

令和7年度 嶺南の教育



福井県教育庁嶺南教育事務所

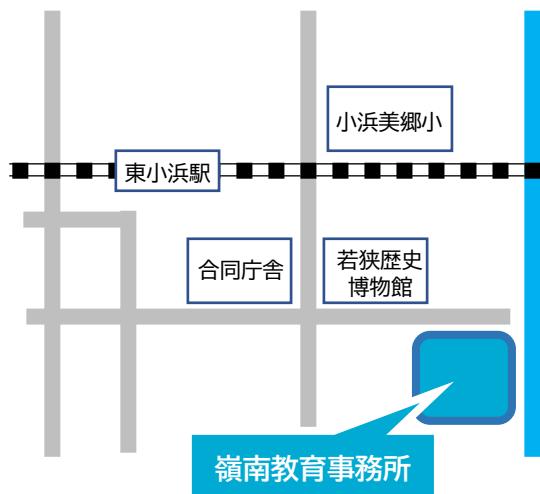
〒917-0241 福井県小浜市遠敷2丁目205
TEL 0770-56-1309 総務課
56-1304 指導相談課
56-1095 特別支援教育課
56-1302 研修課
FAX 0770-56-1391

教育相談室
56-1310

嶺南教育事務所 敦賀駐在

〒914-0811 福井県敦賀市中央町1丁目7-42
敦賀合同庁舎内
TEL. FAX 0770-24-0421

アクセス



沿革

昭和23年11月	教育委員会発足、二州支局・若狭支局設置
昭和31年 1月	二州支局廃止、若狭支局に吸收合併
昭和33年 7月	小浜市竹原、県若狭事務所新庁舎（現 若狭健康福祉センター所在地）移転
昭和45年 4月	若狭地区へき地複式教育センターを上中町熊川に設置
昭和46年 6月	特殊教育推進センターを小浜市に設置
昭和49年10月	教育庁若狭支局に名称変更 次長制となる
昭和50年 7月	小浜市竹原 元 小浜警察署（現 小浜郵便局所在地）へ移転
昭和50年10月	教育庁若狭教育事務所に名称変更
昭和51年 5月	小浜市遠敷 若狭合同庁舎完成に伴い移転
昭和56年 4月	次長制を廃止、二課制（総務・指導）となる
昭和57年10月	小浜市遠敷 教育研究所若狭支所庁舎完成に伴い移転 教育研究所若狭支所開設
昭和58年 4月	二州地区と若狭地区のへき地複式教育センターを教育研究所若狭支所庁舎内に移転
平成 8年 4月	若狭歴史民俗資料館開館に伴い歴史民俗等の業務を移管
	二州地区と若狭地区のへき地複式教育センターを統合し、嶺南へき地複式教育センターに名称変更
	特殊教育推進センターを改組し、特殊教育センターとし教育研究所若狭支所庁舎内に嶺南駐在を置く
	機構改革により、若狭教育事務所・教育研究所若狭支所・嶺南へき地複式教育センター・特殊教育センター嶺南駐在を統合し、現在地に教育庁嶺南教育事務所を設置するとともに、敦賀合同庁舎内に敦賀駐在を置く

方針

1. 教育に関する大綱の基本理念を踏まえ、人権尊重の精神を基盤に、※1嶺南の特色を生かした教育活動を推進する。
2. 子どもが主役の教育を推進し、児童・生徒に※2未来を生きるために必要な資質・能力をはぐくむ。

※1 嶺南の特色を生かした教育活動 とは

- ◆嶺南の児童・生徒の実態をもとに、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業を創造する。
- ◆嶺南の児童・生徒一人一人の個性や可能性を引き出す「多様性に応じた学び」と「安心して学べる教育環境」の充実を図る。
- ◆嶺南ふるさと学習推進プロジェクトを核とし、探究的な学びの充実を図る。

※2 未来を生きるために必要な資質・能力 とは

- ◆自律する力
- ◆協働する力
- ◆創造する力

組織

所長

次長

総務課

教職員の給与・旅費
教職員の任免・人事
文化財の保存

指導相談課

資質・能力育成
生徒指導・人権同和教育
学校訪問

特別支援教育課

就学相談
教育的ニーズのある子の教育相談
校内支援体制サポート

研修課

教職員研修
教育課題に関する研究
教育図書

嶺南の小中学校

令和7年4月現在

小学校

	高浜町	おおい町	小浜市	若狭町	美浜町	敦賀市	嶺南	県	割合%
学校数	4	4	9	8	3	11	39	179	21.8
学級数	28	28	79	57	24	141	357	1857	19.2
児童数	441	400	1366	637	364	3059	6267	35789	17.6

中学校

	高浜町	おおい町	小浜市	若狭町	美浜町	敦賀市	嶺南	県	割合%
学校数	2	2	2	2	1	5	14	69	20.3
学級数	14	13	30	18	8	70	153	841	18.2
生徒数	238	227	769	379	169	1630	3412	19293	17.7

学校教育

令和7年度 主な県事業・管内研究指定校等一覧

主な県事業名	研究指定校等
ふるさとの魅力発信推進事業	令和3年度より5年間ですべての小中学校が実施
芸術教育推進事業（弦楽）	【継続】松陵中
中学校における習熟度別学習	【数学】松陵中、粟野中、小浜中、高浜中 【英語】気比中、小浜二中
親子で学ぶ道徳講座	美浜西小、梅の里小、粟野中、大飯中
スクールカウンセラー配置事業	拠点校：9校 対象校：21校 単独校：21校
スクールソーシャルワーカー配置事業	嶺南全域に2名配置、敦賀市に2名配置、小浜市に1名配置
НИE実践校	沓見小、内外海小

教職員研修

研修講座 (R7 予定)

教科研修講座 (8講座)

- ・小学校、中学校国語科
- ・中学校社会科
- ・小学校算数科
- ・中学校数学科
- ・中学校理科
- ・中学校英語科
- ・小・中学校道徳科

若教連研修講座 (4講座)

※若教連…若狭地方教育委員会連絡協議会

- ・学びの集団づくり
- ・気になる子のサポート
- ・人権教育
- ・探究的な学び

訪問型研修 (実施内容例)

教科指導

- ・授業づくり
- ・個別最適な学び
- ・校内研究の改善充実

教育相談・生徒指導

- ・集団づくり
- ・Q-U 活用
- ・福井県版ポジティブ教育プログラム

情報教育・I C T活用

- ・1人1台端末の活用
- ・デジタルシティズンシップ教育

特別支援教育

- ・発達障がい、愛着障がい、ユニバーサルデザイン、合理的配慮
- ・学級単位の教育相談

人権教育

- ・人権教育の日常化
- ・障がい理解教育

教育図書 (R6 購入)

・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する国語授業モデル
(水戸部修治)

・小学校算数「個別最適な学び」と
「協働的な学び」の一体的な充実
(加固希支男)

・子どもの自己調整スキルを磨く
—個別最適な学びと協働的な学び
を根底から支える—
(横田富信)

・あなたにもある無意識の偏見
アンコンシャスバイアス
(北村英哉)

・ウェルビーイングな学校をつくる
(中島晴美)

・インクルーシブ教育って
どんな教育?
(青山新吾)

嶺南の状況・諸事業

教育相談件数
(電話・来所)

R5 28件
R6 28件

相談内容 (R6 上位3項目)

- ①不登校
- ②発達障がい
- ③友人関係

昨年度は350名参加
令和7年度も開催!

嶺南教育実践フォーラム

開催予定日

令和8年2月2日 (月)
3日 (火)
4日 (水)
5日 (木)

特別支援教育

相談件数 (R6 受理数)

幼児 168件

小学生 159件

中学生 20件

主な相談障がい種 (R6 上位3項目)

- ①知的障がい
- ②ADHD
- ③ASD

ASD…自閉スペクトラム症。
対人関係が苦手、強いこだわりといった特徴がある。

ADHD…注意欠如・多動症。
興味対象の移り変わりが激しく、
動かずにじっとしていることが苦手。不注意といった特徴も。

R6 訪問型研修内容
(上位3項目)

- ①福井県版ポジティブ教育プログラム
- ②特別支援教育
- ③人権教育

授業づくり

教科研修講座参加教員数

R5 404名

R6 419名

若教連研修講座参加教員数

R5 289名

R6 348名

満足度の高かった講座 (R6 上位3講座)

- ①小学校算数
- ②小・中学校道徳
- ③気になる子のサポート